

平成22年度 京都市予算案 事業概要

行財政局

事務事業名	①京都市立芸術大学サテライト施設運営 ②京都市立芸術大学サテライト施設企画展運営		
予 算 額	①17,783千円	新規・継続の別	継 続
	② 7,000千円	未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	①局配分枠 未来まちづくり推進枠
担 当 課	芸術大学総務課(334-2200)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>大学にとって、教育や研究の成果を地域に向けて発信することは、教育研究の質を向上させるとともに、大学の認知度を高め、地域貢献を果たすために重要であるが、芸術大学が市域の西端に位置し、アクセス面等から、多くの市民が足を運ぶまでには至っていなかった。</p> <p>こうした状況の中、より市民に開かれた大学を目指し、平成22年4月に開校する京都市立京都堀川音楽高等学校に併設して、芸術大学のサテライト施設を開設する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>施設の概要 延床面積 約500㎡ (内訳) ・展示室 240㎡ ・講義室兼展示室 116㎡ ・事務室、保管庫など</p> <p>場 所 中京区油小路通御池押油小路町238番地の1</p> <p>学生の作品や収蔵品の展示会・サマーアートスクールなどの市民講座等の実施 <局配分枠></p> <p>コンテンポラリーアート(現代芸術)に関する企画展の実施 <未来まちづくり推進枠></p> <p>サテライト施設のオープニング事業として、現在、コンテンポラリーアートの分野で世界から注目され評価されている本学出身者の作家の作品を一堂に展覧する。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p> <p>サテライト施設には、京都市立銅駝美術工芸高等学校のギャラリースペースもあり、本学と銅駝美術工芸高等学校が協同しながら、イベントを展開し、堀川御池近隣及び御池シンボルロードのにぎわいづくりにつなげていく。</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

行 財 政 局

事務事業名	京都市立芸術大学130周年記念事業		
予 算 額	3,000千円	新規・継続の別	新 規
		来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担 当 課	芸術大学総務課(334-2200)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市立芸術大学は、明治13年に京都府画学校として開校し、平成22年で創立130周年を迎える。</p> <p>京都市の文化、芸術を先導する大学として広く市民に親しまれ、著名な芸術家を多く輩出し、京都をはじめ日本の文化、芸術の発展に大きく寄与してきた。</p> <p>創立130周年に当り、記念式典を開催する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>創立記念式典を平成22年7月3日(土)に開催する。記念式典では、演奏会や記念講演を予定している。</p> <p>また、創立120年以降の10年間の大学事跡を記録した10年誌を作成する。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p> <p>教職員、同窓会、PTA等によって構成される芸術大学創立130周年記念実行委員会を組織し、寄附などを財源に様々な記念事業を実施する。</p> <p>芸術大学創立130周年記念実行委員会は、以下の記念事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (音楽学部) 学外オペラの開催 ・ (美術学部) 市立美術館における記念展示会の開催 ・ (日本伝統音楽研究センター) 記念公開講座の実施 など 			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

行 財 政 局

事務事業名	芸術大学整備・改革の推進		
予 算 額	27,000千円	新規・継続の別	新 規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	行財政局総務部総務課(222-3045) 芸術大学総務課(334-2200)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>「京都市立芸術大学のあり方懇談会」からの提言を踏まえ、平成21年8月に策定した「京都市立芸術大学整備・改革方針」において、平成24年度を目途とした公立大学法人化を示しており、その具体化に向け、現在、京都市立芸術大学整備・改革推進会議において、「芸術大学整備・改革基本計画（仮称）」をまとめている。</p> <p>[事業概要]</p> <p>教育研究の充実、関係諸機関との連携の強化を着実に実行するとともに、それらを推進するための組織・運営体制を構築するため、24年度の公立大学法人化を目指して、22年度は「芸術大学整備・改革基本計画（仮称）」に基づき、公立大学法人の定款等の規定作成や新たな財務会計制度の導入等、具体的な準備業務を進める。</p> <p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <p>事業効果</p> <p>公立大学法人化に係る業務全般について精通し、また、経験のある専門的な監査法人の支援を受けることで、24年度の公立大学法人化に向けて、効率的、効果的な準備を進めることができるとともに、実効性のある運営・組織体制の確立が見込まれる。</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

行財政局

事務事業名	市庁舎整備基本計画(案)の策定に向けた整備方針の確定														
予 算 額	8,000千円	新規・継続の別	継続												
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠												
担 当 課	行財政局総務部総務課(222-3045)														
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>現在の市庁舎は、耐震性能の不足をはじめ、施設や設備の老朽化、狭あい化、執務室の分散化、省エネルギー対策やバリアフリー対応等、多くの課題を抱えている。これらの課題を解決し、市政推進の中核、大規模災害時の拠点施設としての機能を確保するなど市民のための市役所づくりを実現するために、平成20年11月に設置した外部の有識者等(市民公募委員を含む。)からなる「市庁舎整備懇談会」において、整備規模、整備手法や目指すべき方向性等の検討を行ってきた。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成22年度は、市庁舎整備懇談会からの提言を踏まえ、整備規模、整備手法等、市庁舎整備に係る課題等を整理した上で、市庁舎整備方針を確定させ、平成23年度以降の「市庁舎整備基本計画(案)」の策定に向けた取組を行う。</p> <p>[参 考(他都市の状況・事業効果など)]</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="3">他都市の耐震改修状況</td> </tr> <tr> <td>名古屋市</td> <td>昭和8年建築</td> <td>平成17年度から実施中</td> </tr> <tr> <td>さいたま市</td> <td>昭和57年建築</td> <td>検討中</td> </tr> <tr> <td>千葉市</td> <td>昭和45年建築</td> <td>検討中</td> </tr> </table>				他都市の耐震改修状況			名古屋市	昭和8年建築	平成17年度から実施中	さいたま市	昭和57年建築	検討中	千葉市	昭和45年建築	検討中
他都市の耐震改修状況															
名古屋市	昭和8年建築	平成17年度から実施中													
さいたま市	昭和57年建築	検討中													
千葉市	昭和45年建築	検討中													